

# 第1章 スマート社会とくしま

## 第2節 環境と経済の両立に向けた取組

### 1 本県の取組

2008年のリーマンショック以降、既存産業が衰退化  
する中、世界各国が環境関連技術の開発や産業創出を  
図る「グリーンニューディール政策」を推進しており、  
日本再興戦略でエネルギー関連の投資の増加・雇用の  
創出に向けた取組を進めることとしています。

本県では、「21世紀の光源・LED」やリチウムイオン  
電池の世界最大級の生産拠点が立地する優位性を活かし、  
「LEDバレイ構想」の推進や、「次世代分野進出促  
進研究会」での応用製品開発など環境配慮型産業の創  
出を積極的に進めています。



LED

### 2 今後の取組

今後、環境配慮型産業は、課題解決型の成長産業と  
して期待が高まっており、環境と経済の両立や地域産  
業の活性化・再生のため、その取組を加速していく必  
要があります。

また、化学肥料や化学農薬を低減して生産された農  
産物は、安全・安心な農産物として消費者の関心が高  
いことから、今後ともエコファーマーが生産する農産物や  
有機農産物など環境に優しい農産物の安定した生産や  
認知度の向上に取り組めます。



ecoで新鮮なっ！とくしま野菜フェアの状況

## 第3節 オゾン層の保護

### 1 現状と課題

本県では、フロン等の大気中濃度を把握するため、  
平成4年度から調査を実施しており、平成17年度にお  
いては、県下4地点で年間にわたり調査を行っていま  
す。

平成17年度調査結果の一例は表1-3-1のとおりです。

表1-3-1 大気中フロン類調査結果（平成17年度）

区分	フロン 11	フロン 12	フロン 113	フロン 114	備考
年平均 濃度 (ppb)	0.28	0.60	0.085	0.013	4地点の 平均値

### 2 本県の取組

本県のオゾン層保護対策としては、これまでこの問  
題に対する県民、事業者等の理解を深めるための普及  
・啓発を推進するとともに、オゾン層破壊物質である  
フロン等について、事業者や市町村等による自主的な  
回収・処理の促進を中心に展開してきました。

県内におけるフロン類の漏えい防止とその適切な回  
収の推進を図るため、改正施行された「フロン排出抑  
制法」の制度に関する周知とフロン類の回収処理の実  
態把握に努めるとともに、充填回収業者の登録等を行  
いました。

### 3 今後の取組

県内のフロン類の排出抑制、回収処理の向上を図る  
ため、「フロン排出抑制法」の適正な運用に努めるとと  
もに、県民に対しフロン排出抑制の促進や責務等に関  
する理解と関心を深めるための普及啓発を実施します。